

皆様おはようございます。

本日、ここに議員各位の御参集をお願い申し上げ、令和2年第6回江田島市議会を開会するに当たり、御挨拶を申し上げます。

議員各位におかれましては、平素から市政運営に対し、格別の御理解と御協力をいただき、深く感謝いたしております。

さて、早いもので、令和2年も残すところ2か月余りとなりました。

年明けから世界を襲いました新型コロナウイルス感染症は、依然として世界各地で猛威を振るっておりまして、その収束については未だ見通しの難しい状況にございます。本市におきまして、先月27日には、2例目となる感染症患者の方の発生が確認をされました。幸い重症に至ることなく指定医療機関からは、既に退院されておりまして、以後、1か月の間、市内における感染症患者の確認はされておられません。

これからは、季節性インフルエンザの流行期を迎えることもありまして、引き続き、「新しい生活様式」の実践による感染拡大の防止と社会経済活動の両立を図るための施策に力を尽くしてまいります。

このような中、市民の皆様と事業者の皆様、そして市役所との連携による協働のまちづくりの活動も、少しずつ広がりを見せ始めております。

オリーブ振興に取り組み始めて11年。江田島オリーブ振興協議会の皆様の企画により「オリーブ収穫体験」も5年目を迎え、本市の新たな体験型観光のプログラムとして定着をしております。10月3日から、11月7日まで、毎週土曜日などに行われております収穫体験には、市外から多くの皆様に御参加をいただいております。特に若い女性や親子連れの皆様に好評でございます。「毎年楽しみにしています」とのお声も頂いております。

また、10月16日には、市の呼びかけに応じて、大君自治会の皆様をはじめ、約30人の市民の皆様や地元企業の方々が、本市の陸の玄関口であります早瀬大橋周辺の国道487号沿いの道路清掃活動を行っていただきました。これは、秋の行楽シーズンに観光客の皆様をきれいな道で迎え入れようと企画されたもので、毎週金曜日に行い、11月末まで続けるものでございます。本市の里山、里海の美しい景色と、その恵みを存分に味わって頂くために、まずは、その玄関口から気持ちよく巡って頂きたいとの思いを込めた活動でございます。

さらに、秋から冬にかけての観光体験と航路事業支援の取組として、本市広報大使のSTU48矢野帆夏さんに御協力を頂き、「乗って江田島航路～スタンプラリー2020」の活動もスタートしております。矢野帆夏さんが、本市の美しい海、島

をフェリーから望むポスターやリーフレットによりまして、既に港での広報を始めております。瀬戸内の穏やかな海を航路により、本市を訪れていただき、多くの皆様に美しい自然を舞台にアクティビティや収穫体験を楽しんでいただきたい、そのような思いを込めての取組でございます。

さて、私の1期4年目の任期も、あと1か月余り（39日）となりました。

私は、この4年間、総合計画の描く「協働と交流で創り出す『恵み多き島』えたじま」、その実現のために「しごとの創出」「子育てしやすい環境づくり」「健康寿命の延伸」の3つを重点テーマとして掲げ、施策を推し進めてまいりました。

それぞれに市民の皆様の声に耳を傾け、江田島市にとって、江田島市民の皆様にとって、何が最善か、との判断基準に従い、職員とともに全力で施策の実現に邁進してまいりました。

先の定例会では、形の見えるまでに時間を要しました取組として「しごとの創出」に関して、新ホテル事業の経過について御報告をし、さらに「未利用施設を活用しての企業誘致」にも好循環の兆しがございませうとの、報告をさせて頂きました。

旧切串中学校跡地の広成建設株式会社様の同社研修センター建設用地としての売却、能美市民センター別館へのバレットグループ株式会社様のサテライトオフィス誘致に続いて、旧秋月小学校跡地につきましても新たな「しごとの創出」プロジェクトが進行しております。

これまでこの案件にチャレンジを重ねた関係部局の職員一人一人の地道な取組が、ようやく実を結びつつあるものと、実感をしているところでございます。と同時に職員が懸命に努力をしてくれた結果であると感謝をいたしております。

まさに、「念ずれば花ひらく」であります。

私は、常々、「私の夢は、日々の仕事を通じて、市民の皆様から『江田島市には、たくさんの宝があるけれども、市役所の職員が宝だ』と言ってもらえることである」と職員に話しております。何故なら、市民の皆様から、そう言っていただいた時には、必ずや、江田島市は、良いまちになっている、そう確信をするからであります。

私達、江田島市職員の使命は、市民の皆様の「福祉の向上」であります。市民の皆様の喜びを増やして、悲しみを減ずること。このことを職員と共有したいと念じております。この一念で、これからも職員とともに日々、精進をしてまいりたいと存じます。

先に掲げた3つの重点テーマそれぞれに、種をまき、水をやり、花を咲かせる。まだまだ、道半ばの事業がたくさんございます。少子高齢化が急速に進展する中、江田島市を取り巻く環境は、大変厳しく、施策の実現には、多くの困難が予測をされます。しかしながら、私は、職員とともに、市民の皆様の生活に寄り添いながら、

住む人も、訪れる人も、『ワクワクできる島』えたじまを目指して、熱意と誠意と創意で尽力してまいります。

議員各位の一層の御支援と御協力をお願いいたします。

さて、今議会では、江田島市立小中学校のGIGAスクール事業の実施に伴います財産の取得についてほか、令和元年度の各会計の決算認定につきまして、何とぞ十分な御審議をいただき、議決を賜りますようお願いを申し上げます。

それでは、9月開会の定例会以後の市政の主な事柄（ことがら）につきまして、報告させていただきます。

市政報告書 1 ページ，1 項目めでございます。

「包括的連携に関する協定の締結について」でございます。

10月7日、生活協同組合ひろしまと江田島市の2者による「包括的連携に関する協定」の締結式を市役所で行いました。

本市は、同組合と、平成28年1月に「災害時における支援協力に関する協定」を締結し、生活関連物資を迅速かつ円滑に被災者に供給できるよう連携して取り組んでいるところでございます。

今回の協定は、地域福祉の分野を始めとして、包括的に連携・協力し、両者がお互いの資源や機能を活用することで、地域の活性化と市民サービスの向上を図っていくものであります。

今後は、連携して様々な事業を実施し、市民の皆様が、安心して自分らしい生活を末永く継続していただけるよう支援してまいります。

他の項目につきましては、報告書のとおりでございます。

以上で、報告を終わらせていただきます。